

東林館高等学校 通信教育実施計画

| | | | | | |
|---------------|--|------------------------|---------|-------|------|
| 科目名(単位数) | 数学Ⅱ(4) | | | | |
| 対象年次 | 期別 | 必要面接時数 | レポート数 | | |
| 原則2年次 | 通年 | 4 | 12 | | |
| 科目の概要 | 「様々な方程式」「図形」「三角関数」「指数関数・対数関数」「微分・積分」について学びます。 | | | | |
| 科目の目標 | 単元別に身近な例を挙げたり、作図などを通して基本の考え方を深めていきます。 | | | | |
| 年間学習計画・学習のねらい | 学習内容 | 到達目標 | スクーリング回 | レポート回 | 試験範囲 |
| | 「整式・分数式の計算」「2次方程式」 | 3次以上の式の展開、2次方程式についての理解 | 1 | 1 | 前期 |
| | 「高次方程式」「式と照明」 | 因数定理、高次方程式についての理解 | | 2 | |
| | 「座標と直接の方程式」 | 直線、平面上の座標、直線についての理解 | | 3 | |
| | 「円の方程式」 | 円の方程式、円と直線の関係についての理解 | 2 | 4 | |
| | 「不等式の表す領域」 | 不等式、連立不等式の表す領域についての理解 | | 5 | |
| | 「三角関数」 | 三角関数と相互関係の理解 | 3 | 6 | |
| | 「加法定理」 | 加法定理、弧度法についての理解 | | 7 | |
| | 「指数関数」 | 指数の拡張、累乗根についての理解 | | 8 | |
| | 「対数関数」 | 対数と対数関数、常用対数の理解 | 4 | 9 | |
| | 「微分係数と導関数」 | 平均変化率、導関数、接線の方程式の理解 | | 10 | |
| | 「導関数の応用」 | 関数の極大・極小、最大・最小の理解 | | 11 | |
| | 「積分」 | 府定積分、定積分、面積の出し方の理解 | | 12 | |
| 評価方法 | <p>年度末の成績評価は下記の通り行う。 レポート:50% スクーリング:15% 試験:35% レポート:教科書を活用し、取り組むこと。 スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。 試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。</p> | | | | |
| 単位の修得 | <p>①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:年間4時間出席すること。 ③試験:前期試験、後期試験を受けること。</p> | | | | |
| 使用教科書等 | 「新 数学Ⅱ」 東京書籍 | | | | |
| 学習上の留意点 | スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組みましょう。 | | | | |